

会員の皆様へ：年会費納入の情報：郵便封筒の宛名下の数字参照。2021 は 2021 年度まで納入済み。

## しのばず自然観察会より 2021-6 2021.06.03

### 2021 年 6 月の活動 不忍池定点観察 残念ながら 今年も中止

~~集 合：2021年6月13日（日）午前10時 不忍池蓮池南西端  
（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り） 今回は雨天中止~~

### 2021 年 7 月の活動 不忍池定点観察

集 合：2021年7月11日（日）午前10時 不忍池蓮池南西端 緑の小旗あり  
（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り） 今回は雨天中止

\*新型コロナウイルス感染状況によっては中止の可能性があります。

しのばず自然観察会のホームページでも確認してください。

持ち物：筆記用具、双眼鏡、雨具 or 日傘 飲み物、マスク、敷物（必要な方は昼食）  
解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚



東京都への3回目の緊急事態宣言も延長を重ね、解除は最短でも6月20日になるなか、有効な対策はただただ個人の外出自粛。一方でオリンピック関係の準備は粛々と進み、代々木公園では大規模観覧—パブリックビュー(PV) 装置設置にかかわり運搬に支障がある樹木の大規模「剪定」に批判が集中し知事は剪定地でのPVを断念、一方、イベント空間づくりのために既に大規模伐採の末、市民の声により JR 上野駅公園口前の伐採が

止まった上野公園では、噴水がある竹の台周辺がオリンピック・パラリンピックのPVと盛り上げイベント会場に指定されています（期間は2021年7月23日～8月8日、8月24日～9月5日）。外出自粛中とは言え、私たちの監視の目が必要です。

上野公園がある台東区では、週当たり感染者数が連休明けから60名前後（陽性率9～10%）で下げ止まった後、5月末に44名（7%）になりました。65歳以上を対象にした区の集団接種予約では、免疫が得られるのはオリンピック開始後になる人が少なく、しのばず自然観察会の小川夫妻もその該当者です。感染可能性を考えると、オリンピック・パラリンピック開催中の上野公園での活動（団体行動）は危険です。そこで緊急事態期間のウイルス感染の見通しをにらみつつオリンピック開始前を活動予定日に設定しました。なお、8月の活動日は9日～23日の間にするか中止することになるでしょう。オリンピックが中止になれば、私たちの活動の自由度が増します。

## カエル島今昔 写真の比較から

「しのばず自然観察会より 2021-3」でお届けした不忍池のカエル島建設中の写真と現在の写真を並べてみました。比較して景色の変化をあげてみます。



左：1972年6月 撮影



右：2021年5月29日 撮影

中央の弁天堂と、通路を隔てて向かって右側の屋根が共通して見られます。1972年の写真には弁天堂南側に貸席笑福亭と弁天堂裏にときわ亭、背景にはしのばず通りを挟んでホテル法華クラブ。笑福亭は都有地にあつて締め切りだったので退去になり今は藤棚テラスに変わり、寛永寺の境内敷地上のときわ亭は焼失して空き地になっています。法華クラブが「大魔神」とニックネームがついた超高層ビル「ホテルCOSIMA」を建て、のちに買収されホテル「ソフィテル東京」になり、再買収のあげくタワーマンションになりました。その右側にもタワーマンション2つ。その一つは松坂屋の流通センター跡地を買収したもので、上野のタワーマンションの第1号。建設時に、1階は公共に開かれ通り抜け自由という触れ込みで上層階上乗せが許可になりましたが、今は壁や植え込みによって閉鎖空間化されています。以後次々とタワーマンションが誘致されました。

池の様子も大違いです。カエル島は現在では岸から完全に切り離され、アシにすっかり覆われ、島外のアシと連続して見えます。1972年6月の写真では、アシは笑福亭周辺に限られ、ハスの新芽が出始めたところです。現在の写真ではハスは初めて出る浮葉だけでなく後から出る抽水葉が広がり始め、季節が半月～ひと月進んでいます。これは昨年と同じで、近年の温暖化の影響かと思わされます。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : <http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

\*\*2020年以前の会費未納の方も忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ。\*\*

## 会員からのお便り 日の出町から ヒメザゼンソウの花

竹内高子会員から、今年も東京都日の出町（秋川流域左岸）の春のお便りが届きました。時期が少し遅れてしまったのですが、紹介します。

近所にある保護しているヒメザゼンソウを観にいきました。一株だけ咲いてました。まだブツエンホウ（仏炎苞）はひらききってないけどありました。葉っぱがかれてから花だとおもいましたが、葉があおあおしてました。

里山の土手で畑と田圃があり アマナ、キバナノアマナ、イチリンソウ、セリ、フキがあります。モリアオガエルも産卵します。山からの湧水池の環境です。今、夜は五郎助ホウホウとフクロウが鳴きます。何時までもこの環境が持続することを祈ります。



ヒメザゼンソウ と 生育地 (3月23日)

今年はノジスマレ、アリアケスマレ、スマレが、隣接するあきらの市秋川の東急ストアの駐車場のフェンス沿いに一列に、花付きよく花も大きく豪華に咲いてました。楚々とでなく立派でした。園芸ポツいです。 スミレ→



### アゲハの幼虫 in 谷中

今年も東京都台東区の谷中にある我が家の玄関先では、箱植えの柑橘類の葉でアゲハ類の幼虫が育ち、スズメや小学生が捕っています。4令までの「鳥のうんこ」のような色模様の幼虫の中に、少し違う色合いのものがいます。アゲハの個体変異でしょうか。終令やさなぎの色・形を見るため室内に取り込みました。なかなか脱皮せず、葉を食べ続けています。写真：上方(胸)が緑色、その後ろ(腹)の白い部分が顕著な4令幼虫、尾部はアゲハの模様です。(2021.06.02 小川潔)

